

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------------|------------|--|
| 事業所番号 | 4190900060 | | |
| 法人名 | 株式会社 ティーアート | | |
| 事業所名 | グループホーム季楽里ふあむ | | |
| 所在地 | 佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿甲1879-21 | | |
| 自己評価作成日 | 令和5年10月20日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|--|
| 基本情報リンク先URL | www.kaigokensaku.mhlw.go.jp |
|-------------|--|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-------------------|---------|------------|
| 評価機関名 | 社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号 | | |
| 訪問調査日 | 令和5年11月15日 | 外部評価確定日 | 令和5年12月13日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|--|
| <p>木のぬくもりを感じる家庭的な空間で、安心安全を配慮した構造でリビングを中心に囲むような配置となっている。また、スタッフに看護師と歯科衛生士の資格保有者がいることから、高齢者の死因の一つである肺炎のリスクを減らすため日々利用者様の健康管理や口腔衛生面で医療機関と綿密に連携をとっている。開設してA棟は7年目、B棟は4年目になり、監査や訪問調査を受け様々な指摘を受けることがありましたが、その都度適切な対応を管理者を中心に行ってきた。また、スタッフの年齢層が若く、様々な活動やシステムの変更にも素早く対応が出来る。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| <p>地元貢献したいとの思いで開設され、利用者とのコミュニケーションを大切にされている。職員を多く雇用し、外国人雇用や先進機器なども取り入れることで、職員が利用者に関わる時間を確保し、その方に即したケアが提供出来るように工夫されている。また、介護支援専門員を専従させる事で家族や利用者の想いをケアプランに反映させ状況に応じてプランを変更するなど施設全体が協働し利用者生活を支える事ができる施設である。</p> |
|--|

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | | |
|--------------------|-----|---|---|---|--|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 掲げた理念の復唱を毎朝行い、その理念に沿った実践が出来るよう努めている。 | 掲げた理念の復唱を毎朝行い、その理念に沿った実践が出来るよう努めている。 | 有料老人ホームと共有する基本理念とは別に事業所の理念を掲げ運営されている。新入社員を採用した際には入職時にオリエンテーションで説明を行い、また毎月のミーティングの中で理念に即したケアができてきているか確認されている。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 隣保班に加入し、ごみステーションの清掃や、地域の清掃活動に参加している。 | 隣保班に加入し、ごみステーションの清掃や、地域の清掃活動に参加している。 | コロナ 以前はボランティアでフラダンスなどの訪問があっていたが、現在は制限をかけている状況である。ただし コロナ禍でも運営推進会議に地域住民の方も参加していただくことで施設の情報を発信することができている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の代表者やご近所の方に運営推進会議への参加を積極的に声掛けし、ホーム内での活動や認知症とは等の情報共有を行っている。まだ訓練は実現出来ていないが、災害時の対応等地域連携が出来るよう話し合いを少しずつではあるが、行っている。 | 地域の代表者やご近所の方に運営推進会議への参加を積極的に声掛けし、ホーム内での活動や認知症とは等の情報共有を行っている。まだ訓練は実現出来ていないが、災害時の対応等地域連携が出来るよう話し合いを少しずつではあるが、行っている。 | | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 災害時の避難場所が一般の方と要介護者の避難先が同じ場所の為、運営推進会議を通し地域の方に要介護者専用の避難場所を確保したいことを伝え、周辺の介護施設と連携し、避難先で迅速な対応が出来るように取り組みを行っている。 | 災害時の避難場所が一般の方と要介護者の避難先が同じ場所の為、運営推進会議を通し地域の方に要介護者専用の避難場所を確保したいことを伝え、周辺の介護施設と連携し、避難先で迅速な対応が出来るように取り組みを行っている。 | 運営推進会議には区長、民生委員、地域包括支援センター、家族が参加され地域の情報を得ることができるようになっている。参加されていないご家族には請求書と一緒に議事録を郵送している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|-----|---|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 地域ケア会議への参加はまだ出来ておらず、継続した関係にはないが、自宅へ戻られたケースで地域包括支援センターへ口頭ではあるが、報告した事例はある。運営推進会議には毎回出席頂いている。 | 地域ケア会議への参加はまだ出来ておらず、継続した関係にはないが、自宅へ戻られたケースで地域包括支援センターへ口頭ではあるが、報告した事例はある。運営推進会議には毎回出席頂いている。 | 行政とは利用状況の確認や生活保護の利用に合わせて相談することがある。また 会議にも参加し関係性を構築されている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 基本的に拘束は行わない方針で家族やスタッフに周知を行っている。入院の際安全ベルト使用だった事例でも、入居後は未使用対応し不穩は見られなかった経験がある。 | 基本的に拘束は行わない方針で家族やスタッフに周知を行っている。入院の際安全ベルト使用だった事例でも、入居後は未使用対応し不穩は見られなかった経験がある。 | 現在、身体拘束をされている事例はなく入居時より身体拘束の指針を家族に説明している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 毎月のミーティングでは多くの職員が参加するためその時間を活用し、高齢者虐待防止についての勉強会を定期的に開催し虐待防止についての学びを深め実践している。 | 毎月のミーティングでは多くの職員が参加するためその時間を活用し、高齢者虐待防止についての勉強会を定期的に開催し虐待防止についての学びを深め実践している。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 管理者講習においては成年後見制度についての講義を受けた。 | 管理者講習においては成年後見制度についての講義を受けた。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 十分な時間をかけて説明を行い、些細なことでも気になるようなことであれば相談に応じ理解を得ている。 | 十分な時間をかけて説明を行い、些細なことでも気になるようなことであれば相談に応じ理解を得ている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|-----|---|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | モニタリングや運営推進会議を通じ直接意見を頂いている。投書箱の設置は行っていない。 | モニタリングや運営推進会議を通じ直接意見を頂いている。投書箱の設置は行っていない。 | 利用者の要望は日々の中で感じたことを共有しケアに反映されている。家族からは電話や状態の報告をした際に聞き取り申し送りノート等を活用し職員全体に周知されている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月第2金曜日のミーティングで意見を出し合い全員で検討している。 | 毎月第2金曜日のミーティングで意見を出し合い全員で検討している。 | 職員の意見は日々の業務の中で聞き取り、月に1回のミーティングでも改善に向けた取り組みが行われている。業務負担を減らすためにタブレットなどの先進機器を導入し業務の負担改善に努めており積極的に外国人の雇用も進められている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 定期的なミーティングの参加や日頃から職員とのコミュニケーションを図りながら職員の能力を引き出し評価につなげている。 | 定期的なミーティングの参加や日頃から職員とのコミュニケーションを図りながら職員の能力を引き出し評価につなげている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 勤労年数が長い職員が新人教育に積極的に参加し、職員全体が統一した介助を行えるようなシステムにしている。また、外国人雇用を行い、日々の会話から日本語を学ぶなど様々な取り組みを積極的に行っている。 | 勤労年数が長い職員が新人教育に積極的に参加し、職員全体が統一した介助を行えるようなシステムにしている。また、外国人雇用を行い、日々の会話から日本語を学ぶなど様々な取り組みを積極的に行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同業者との交流の機会を作るため、グループホーム協会に入会し、機会があるごとに職員へ参加を促している。 | 同業者との交流の機会を作るため、グループホーム協会に入会し、機会があるごとに職員へ参加を促している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | | |
|------------------------------|----|---|---|---|-------------------|-------------------|--|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前に本人様の状態確認に必ず出向き、生活空間を見て本人様に今後必要なことや様々な情報収集を行い、知りえた情報を職員と共有し、日々の会話に取り入れることで親密な関係を築いている。 | 入居前に本人様の状態確認に必ず出向き、生活空間を見て本人様に今後必要なことや様々な情報収集を行い、知りえた情報を職員と共有し、日々の会話に取り入れることで親密な関係を築いている。 | | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 事前情報を取り寄せ、家族からも直接ニーズを伺っている。 | 事前情報を取り寄せ、家族からも直接ニーズを伺っている。 | | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 本人家族には、ニーズを伺いそれに基づいたサービス計画書を作成している。他のサービス利用では、当てはまるかわからないが、在宅酸素利用者のケースでは、受け入れ前に業者を迎え学習会を行い、操作を練習した。 | 本人家族には、ニーズを伺いそれに基づいたサービス計画書を作成している。他のサービス利用では、当てはまるかわからないが、在宅酸素利用者のケースでは、受け入れ前に業者を迎え学習会を行い、操作を練習した。 | | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 会話は同じ目の高さで行うことを心掛け、椅子に座りコミュニケーションを図っている。 | 会話は同じ目の高さで行うことを心掛け、椅子に座りコミュニケーションを図っている。 | | | |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 利用者様の些細な癖や行動を家族との会話に取り入れ、介助が難しい時にはご家族からの声掛けを行っていたが、離れている時間でも一緒に悩み、事柄を解決するような会話をしている。 | 利用者様の些細な癖や行動を家族との会話に取り入れ、介助が難しい時にはご家族からの声掛けを行っていたが、離れている時間でも一緒に悩み、事柄を解決するような会話をしている。 | | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|-----|---|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 認知症を患っておられ、場所の把握に本人様が混乱や夜間不眠に繋がりが、提供者は良かれと思っていたことが本人様に負担になることがあるため時期を見計らいながら支援している。 | 認知症を患っておられ、場所の把握に本人様が混乱や夜間不眠に繋がりが、提供者は良かれと思っていたことが本人様に負担になることがあるため時期を見計らいながら支援している。 | コロナ 以前は自由に外出できる環境であったが現在は感染状況を見て判断されている。馴染の理美容室等へは外出されることがある。面会に関しては10時から15時を基本としているが、それ以外の時間でも臨機応変に対応されている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ホールにおける席替えは既に数回行い、折り合いが一番うまくいくよう配慮している。 | ホールにおける席替えは既に数回行い、折り合いが一番うまくいくよう配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 担当ケアマネジャー等を通じ日頃の様子を尋ね、その後についての情報収集もケースによっては行っている。 | 担当ケアマネジャー等を通じ日頃の様子を尋ね、その後についての情報収集もケースによっては行っている。 | | |

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

| | | | | | | |
|----|-----|--|---|---|---|--|
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | コロナ禍で満足に外出が出来ず、日々の生きる気力の低下が著明に見られた。現在では日々の会話から本人様の希望や思いを聞き出し、積極的に本人様の意思に沿えるようレクリエーションや外出等活動している。意思の表現が困難な方はご家族に聞き取りを行い、実践、本人様の反応を見ながら活動の検討を行っている。 | コロナ禍で満足に外出が出来ず、日々の生きる気力の低下が著明に見られた。現在では日々の会話から本人様の希望や思いを聞き出し、積極的に本人様の意思に沿えるようレクリエーションや外出等活動している。意思の表現が困難な方はご家族に聞き取りを行い、実践、本人様の反応を見ながら活動の検討を行っている。 | 家族より生活歴を聴取し、その人に即したケアを実践できるように検討されている。またコミュニケーションが困難な利用者に関しては、表情や反応等を見ながら対応されている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族や担当ケアマネジャーからの情報を基に、どんな暮らしぶりかを把握するよう努めている。 | 家族や担当ケアマネジャーからの情報を基に、どんな暮らしぶりかを把握するよう努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ベッド上生活が多かった方には、終日ホールで過ごす事は、苦痛を伴うことを考慮し、体調を見ながら離床を進めている。 | ベッド上生活が多かった方には、終日ホールで過ごす事は、苦痛を伴うことを考慮し、体調を見ながら離床を進めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアマネジャーと日常生活動作についてや個々の性格等の細かなケアについて看護師・介護士と情報共有を行い、個別性のある計画を作成している。 | ケアマネジャーと日常生活動作についてや個々の性格等の細かなケアについて看護師・介護士と情報共有を行い、個別性のある計画を作成している。 | 担当者会議には家族も同席し実施されておりケアプランを作成されている。支援経過やモニタリングはパソコンで行い利用者の状態変化が把握しやすいようになっている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の様子は手書きの介護経過記録とパソコンでのケース入力・支援記録をそれぞれ行っている。これらを基に計画の見直しに役立てる必要がある。 | 日々の様子は手書きの介護経過記録とパソコンでのケース入力・支援記録をそれぞれ行っている。これらを基に計画の見直しに役立てる必要がある。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | これからの課題として捉えたい。 | これからの課題として捉えたい。 | | |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 社会福祉協議会とはボランティア受け入れの件で、警察の派出所とは巡回の実施依頼を行い、地元消防団とも避難協力について相談中である。 | 社会福祉協議会とはボランティア受け入れの件で、警察の派出所とは巡回の実施依頼を行い、地元消防団とも避難協力について相談中である。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|---|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している | 提携医については入居前に説明を 行い、ご家族や本人様が今までの かかりつけ医を希望される場合はそ の医療機関とも連携を行い、安心し て受診して頂けるよう支援している。 | 提携医については入居前に説明を 行い、ご家族や本人様が今までの かかりつけ医を希望される場合はそ の医療機関とも連携を行い、安心し て受診して頂けるよう支援している。 | 協力医療機関とは24時間連絡が取 れる状態となっており2週間に1回の 往診で状態を把握されている。状態 変化があった際には連絡をすると臨 時で往診を対応していただける関係 性が構築されている。 | |
| 31 | | ○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している | 日頃の関わりや観察する中で、小さ な変化でも情報共有と報告を行い 異常の早期発見に努めている。 | 日頃の関わりや観察する中で、小さ な変化でも情報共有と報告を行い 異常の早期発見に努めている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行ってい る。 | 病院においては医療ソーシャルワー カーや退院支援専従看護師との連 携をその都度取り合っている。 | 病院においては医療ソーシャルワー カーや退院支援専従看護師との連 携をその都度取り合っている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる | 重度化した場合は連携医との情報 共有を看護師が24時間体制で細か く行い、ホームの看護師が介護職員 全員が理解と対応ができるよう間 に入り、どの職員でも対応と状況報告 が出来る環境づくりを行っている。 終末期はご家族と共に今後の対応 について話し合いを行っている。 日々ご家族との会話を通し、信頼関 係を構築、瞬時に連絡を取り合える よう日々コミュニケーションを取っ ている。そのことで本人様・ご家族の 思いを支援に反映している。 | 重度化した場合は連携医との情報 共有を看護師が24時間体制で細か く行い、ホームの看護師が介護職員 全員が理解と対応ができるよう間 に入り、どの職員でも対応と状況報告 が出来る環境づくりを行っている。 終末期はご家族と共に今後の対応 について話し合いを行っている。 日々ご家族との会話を通し、信頼関 係を構築、瞬時に連絡を取り合える よう日々コミュニケーションを取っ ている。そのことで本人様・ご家族の 思いを支援に反映している。 | 看取りの実績は過去に5例ほどあ り、協力医療機関と連携を図り実施 されている。終末期を迎えた際 には、家族、事業所、協力医療機関で 今後のケアについて話し合われて いる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----------------------------------|------|--|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 開設時にAEDの操作説明を業者から受けた。急変時については連携病院への連絡体制を確率している。 | 開設時にAEDの操作説明を業者から受けた。急変時については連携病院への連絡体制を確率している。 | / | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 避難時装着の氏名入りTシャツを準備し、その中に本人の基本情報を入れている。 | 避難時装着の氏名入りTシャツを準備し、その中に本人の基本情報を入れている。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 氏名の尊称は「さん」又は「様」を用い会話は標準語で敬語を基本とする。記録物はスタッフ以外の目に触れないよう配慮している。 | 氏名の尊称は「さん」又は「様」を用い会話は標準語で敬語を基本とする。記録物はスタッフ以外の目に触れないよう配慮している。 | 入社時に接遇の研修を行い個人情報の取り扱いについても周知されている。利用者が居室で過ごされる際には扉を開けておくか確認しプライバシーに配慮されている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 例えば、「お風呂に行きましょう」だけではなく、「お湯の準備が出来ましたが、いかがいたしますか」と促している。 | 例えば、「お風呂に行きましょう」だけではなく、「お湯の準備が出来ましたが、いかがいたしますか」と促している。 | / | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 本人の病状・体調に合わせて1日を過ごしてもらっている。入浴や食事でも無理強いないよう心掛けてもらっている。 | 本人の病状・体調に合わせて1日を過ごしてもらっている。入浴や食事でも無理強いないよう心掛けてもらっている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 清潔には気をつけているが、身だしなみやおしゃれまでは至っていない。起床後の寝ぐせは夜勤者が髪をといている。また爪切りや耳掃除、散髪は適宜対応している。 | 清潔には気をつけているが、身だしなみやおしゃれまでは至っていない。起床後の寝ぐせは夜勤者が髪をといている。また爪切りや耳掃除、散髪は適宜対応している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 日々の食事の準備や皿洗い等声掛けにて協力を得られていたが、定着した活動にはなっていない。しかし、外食の際はご自身でメニューをみて選択される為食事の楽しみに繋がっている。 | 約1名ではあるが、決まった時間にお茶くみを協力して頂いており、職員も本人様も定着した取り組みが出来ている。また、外食の際はご自身でメニューをみて選択される為食事の楽しみに繋がっている | 食材のみを業者が配達され調理が可能な利用者と一緒に食事を作る場合もある。食事形態は常食とミキサー食を提供されている。食事の好みに関しては外食等で対応されている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食材の宅配サービスを利用しバランスの取れた食事提供を行っている。水分補給については、1日1000mlを目標に摂取を行っている。 | 食材の宅配サービスを利用しバランスの取れた食事提供を行っている。水分補給については、1日1000mlを目標に摂取を行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後にその都度歯磨き誘導を一人一人に行っている。希望者には歯科の往診を依頼している。 | 毎食後にその都度歯磨き誘導を一人一人に行っている。希望者には歯科の往診を依頼している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|---|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 日中だけでなく、本人様の尿意や頻度を見極め定時のトイレ誘導を行う。また、汚染の範囲を最小限にし、失敗の経験を極力されないようパットの使い分けや検討を行い支援している。 | 日中だけでなく、本人様の尿意や頻度を見極め定時のトイレ誘導を行う。また、汚染の範囲を最小限にし、失敗の経験を極力されないようパットの使い分けや検討を行い支援している。 | 排泄チェック表を用いてトイレ誘導を基本としており 夜間帯のみポータブルトイレを使用するケースもある。事業所としてはできるだけパッドの使用頻度を減少させるように取り組まれている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 朝夕の運動と水分摂取、適切な下剤の服用でその予防と改善に努めている。 | 朝夕の運動と水分摂取、適切な下剤の服用でその予防と改善に努めている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | 月水金と火木土のグループに分かれ、午前中に実施している。どうしても入れなかった方についてはその日の午後や翌日に変更することはある。夕方や毎日といった希望には応じることは出来ていない。 | 月水金と火木土のグループに分かれ、午前中に実施している。どうしても入れなかった方についてはその日の午後や翌日に変更することはある。夕方や毎日といった希望には応じることは出来ていない。 | 曜日を固定し対応されているが、拒否等がある場合は柔軟に対応し入浴の頻度を確保されている。同性介助等の希望があった場合は可能な限り対応できる仕組みも確立されている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 個々に応じ昼食後は休憩の時間をとっている。 | 個々に応じ昼食後は休憩の時間をとっている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 基礎疾患に対する内服薬や処方変更時には、看護師からスタッフに必要な説明をしている。 | 基礎疾患に対する内服薬や処方変更時には、看護師からスタッフに必要な説明をしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 会話の中に前職や特技など取り入れるよう心掛けている。 | 会話の中に前職や特技など取り入れるよう心掛けている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | コロナ禍で満足に外出が出来なかったが、5類になったことをきっかけに積極的に外出やご家族との面会の緩和を行っている。本人様の意思に沿えるよう日々の会話から聞き取りを行い実施している。 | コロナ禍で満足に外出が出来なかったが、5類になったことをきっかけに積極的に外出やご家族との面会の緩和を行っている。本人様の意思に沿えるよう日々の会話から聞き取りを行い実施している。 | 個別で外食を対応したり新幹線の開通により長崎まで小旅行に行くなど感染対策ができる範囲で徐々に外出の頻度を増やされている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 現金所持について詳細な取り決めはないが、多額にならないようにしている。外出先での支払いを職員が付き添いながら支払いしてもらう等の自立支援を行っている。 | 現金所持について詳細な取り決めはないが、多額にならないようにしている。外出先での支払いを職員が付き添いながら支払いしてもらう等の自立支援を行っている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している | 直接この方法での連絡の支援は行っていない。 | 直接この方法での連絡の支援は行っていない。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価／ユニットA() (事業所記入欄) | 自己評価／ユニットB() (事業所記入欄) | 外部評価 (評価機関記入欄) | |
|----|------|--|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 空間は全て明るくホールの天井は高く開放感ある構造となっている。 | 空間は全て明るくホールの天井は高く開放感ある構造となっている。 | 開放感のあるリビングに利用者が集まり天気の良い日にはウッドデッキでお茶を楽しむなど工夫をされている。利用者や職員の作品が飾られておりアットホーム雰囲気となっている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 施設の設計上、共有空間で一人になれることは困難だが、他利用者様の目線に入らない位置にソファを設置している。 | 施設の設計上、共有空間で一人になれることは困難だが、他利用者様の目線に入らない位置にソファを設置している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 電動ベッドと作り付けクローゼット、テレビ・エアコンを装備し持ち込みに制限は加えていない。 | 電動ベッドと作り付けクローゼット、テレビ・エアコンを装備し持ち込みに制限は加えていない。 | 自由に家具や家電を持ちこくことができるようになっており、仏壇などを持ち込まれている方もある。必要に応じてセンサーやモニターを設置し利用者の安全を確保出来るように支援する事も可能である。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 洗濯ものたたみはその人に合わせて依頼するなど、その人のできる範囲やタイミングを考慮している。 | 洗濯ものたたみはその人に合わせて依頼するなど、その人のできる範囲やタイミングを考慮している。 | | |

| V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入) | | | | |
|--|--|---------------|-------|----------------|
| ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します | | | | |
| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 | | |
| | | ユニットA | ユニットB | |
| ↓ 該当するものに○印をつけてください | | | | |
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいの |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38) | ○ | ○ | 1. 毎日ある |
| | | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | | 3. たまにある |
| | | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 | | |
|-----|--|---------------------|-------|----------------|
| | | ユニットA | ユニットB | |
| | | ↓ 該当するものに○印をつけてください | | |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | | | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | | 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20) | ○ | ○ | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | | 3. たまに |
| | | | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4) | ○ | ○ | 1. 大いに増えている |
| | | | | 2. 少しずつ増えている |
| | | | | 3. あまり増えていない |
| | | | | 4. 全くない |
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12) | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | | | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | | | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | | 4. ほとんどいない |